

# 彩小ふれあいだより

平成 22 年 7 月 13

日

## ルワンダフルコンサート@ヒロシマ

広島市立彩が丘小学校  
校長 竹川 智子



7月11日(日)中国新聞社ホールにて、ルワンダフルコンサート@ヒロシマが開催され、合唱クラブが出演いたしました。6月の「マイハート・コンサート」での合唱クラブの歌声に感激してくださったヴィオラ奏者の沖田孝司さんから出演依頼をいただきました。合唱クラブの発表の場がますます広がっています。

「アフリカのグラミー賞」と呼ばれるコウラ賞を受賞した音楽家ジャン・ポール・サンプトゥゥさん。伝統のダンスを勇壮に踊るチーム「インゲリ」。広島を代表するヴィオラ奏者の沖田孝司さん。すばらしい演奏・パフォーマンスのステージに彩が丘小の合唱クラブが立たせていただきました。ヒロシマもルワンダも悲劇を経験して平和を求めて生き続けている土地です。サンプトゥゥさん自身も内戦の悲劇によるつらい時間を乗り越えてきて、音楽活動を再開した経験の持ち主です。広島の被爆者の方やサンプトゥゥさんを変えて、ヒロシマとルワンダが悲劇の後はどう生きたのか実経験をもとにした対談もありました。素晴らしい音楽の共感を通じて、平和へのメッセージが心にしみるものとなりました。子どもたちも事前にルワンダのことを学習して、自分たちが歌で伝えようと思う平和への願いと同じだと理解してこのコンサートにのぞみました。

彩が丘小学校合唱クラブの子どもたちは、今一生懸命練習している NHK 音楽コンクールの課題曲「いのちのいっちょうめ」と「耳を澄ませば」の2曲を披露しました。フィナーレでは、出演者と客席の全員で沖田孝司さん作曲「伝えよう笑顔と心」を手話を交えて全員で歌いました。



フィナーレ「伝えよう笑顔と心」



楽器・ダンス・全員でワークショップ